

愛媛県来村川水系の魚類相 II

水野 晃秀

著者は、宇和海に流入する河川の魚類相調査を実施中であり、これまでに愛媛県来村川水系において9目30科63種の魚類を記録している(水野ほか, 1999). 本報では、同河川において先の報告以降新たに記録された魚類について報告する。

調 査 方 法

調査期間は1998年4月から1999年10月の間である。調査地点(図1)と採集方法は先の報告と同様である(水野ほか, 1999). 種の同定および分類体系は中坊編(1993)により、一部幼稚魚については沖山編(1988)に基づき同定した。なお、本報告に使用した標本はすべて徳島県立博物館魚類資料(TKPM-P)として登録、保管されている。

結 果 お よ び 考 察

調査期間中、新たに7目14科14種の魚類が採集され、本水系より記録された魚類はあわせて11目38科76種となった。以下に新たに採集された魚類の標本番号と、括弧内に個体数、標本長(標準体長:SL または体盤幅:DW)、採集年月日、採集地

点(St.)を示すと共に、分布、生息状況等について簡単なコメントを付す。また、先の報告(水野ほか, 1999)で稚魚のみが得られていたクロサギについて、本調査期間中に成魚を採集することができたため、あわせてここに記述する。

Rajiformes エイ目

Dasyatidae アカエイ科

1. *Dasyatis akajei* (Müller and Henle) アカエイ (写真1)

TKPM-P6346(1, 142.4mm DW, July 7, 1998, St.7),
7688(1, 174.2mm DW, June 7, 1999, St.7).

上記以外に、1998年12月14日に河口域で表層を遊泳しているところを目視確認した。本種は南日本、朝鮮半島、台湾、中国などの砂泥底に生息する。四国の河川では、徳島県の吉野川、那賀川(建設省河川局治水課監, 1993)と高知県の四万十川(環境庁, 1987)から記録されており、愛媛県内の河川からの記録は今回が初めてである。

Clupeiformes ニシン目

Clupeidae ニシン科

2. *Konosirus punctatus* (Temminck and Schlegel) コノシロ (写真2)

TKPM-P6352(1, 190.1mm SL, Aug.29, 1998, St.7).

内湾性の魚類でしばしば河口域に侵入してくる。背鰭の最後の軟条部が伸長することが特徴である。河口域で死亡個体を採集した。愛媛県内の河川では岩松川、肱川で確認されている(伊藤・水野, 1978; 辻, 1986, 1993a; 環境庁, 1987).

Cypriniformes コイ目

Cyprinidae コイ科

3. *Carassius auratus buergeri* Temminck and Schlegel オオキンブナ (写真3)

TKPM-P7696(1, 128.5mm SL, Sep.22, 1999, St.8).

支流の内平川(St. 8)でギンブナ *Carassius auratus langsdorfii* 数個体およびオオクチバス *Micropterus salmoides* 数個体に混じって遊泳していたところを投網により採集した。採集時の体色は他のフナと

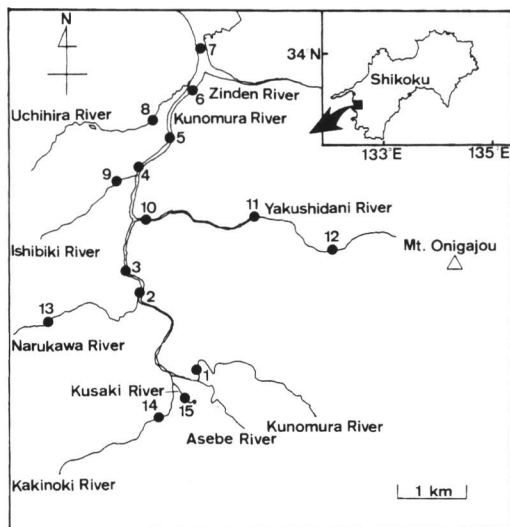


図1. 調査地点の略図

地点番号は水野ほか(1999)と同じ

比べて黄褐色が強く、第一鰓弓の鰓耙数 41、背鰭分枝軟条数 16 軟条、体長体高比 2.98 であり、全てオオキンブナの特徴を備えていたため(細谷, 1993)、本種と同定した。形態でギンブナとオオキンブナを同定するには同一採集地、同一サイズで比較する必要があるといわれており(谷口, 1982)、今後、追加標本を得て精査する必要がある。

Cobitidae ドジョウ科

4. *Misgurnus anguillicaudatus* (Cantor) ドジョウ (写真 4)

TKPM-P7676(4, 62.7-94.1mm SL, May 5, 1999, St.3).

河川へ注ぐ農業用水路より採集した。水路の上流部には小さなため池があり、少ない水量ではあるが周年水切れがないため、本種が生息している可能性がある。また、来村川流域には本地点以外にも河川と水田をつなぐ農業用水路が多くあるため、今後そうした水路について精査する必要がある。

Syngnathiformes ヨウジウオ目

Syngnathidae ヨウジウオ科

5. *Hippichthys penicillus* (Cantor) ガンテンイシヨウジ (写真 5)

TKPM-P6345(1, 87.2mm SL, June 19, 1998, St.7), 6353(1, 132.1mm SL, Aug.29, 1998, St.7).

河口付近で表層を遊泳しているところを手網により採集した。1998 年 8 月 29 日に採集された個体(TKPM-P6353)については、後述するタネハゼと同様に衰弱した状態で採集された。愛媛県内の河川では岩松川、新居浜市の阿島川から確認されている(辻, 1983; 水野, 1988)。

Scorpaeniformes カサゴ目

Triglidae ホウボウ科

6. *Chelidonichthys spinosus* (McClelland) ホウボウ (写真 6)

TKPM-P7689(1, 136.4mm SL, June 16, 1999, St.7), 7690(1, 140.4mm SL, June 22, 1999, St.7).

河口付近の砂泥底で釣りにより採集した。北海道南部以南の砂泥底に生息する(矢頭, 1997)。四国の河川では、徳島県の吉野川支流の沖洲川で確認されている(佐藤, 1991)。愛媛県内の河川における本科魚類の記録としては、種不明の稚魚が岩松川で 1 個体採集されているのみである(辻, 1986)。

Perciformes スズキ目

Carangidae アジ科

7. *Caranx ignobilis* (Forsskal) ロウニンアジ (写真 7)

TKPM-P6392(1, 177.7mm SL, Sep.21, 1998, St.7), 6393(4, 101.4-135.3mm SL, Sep.27, 1998, St.7).

釣りにより採集した。胸部に無鱗域があり、体側に小黒点はなく、第 2 背鰭が 1 棘 18 ~ 20 軟条であることで近縁種のオニヒラアジ *C. popuensis* と区別できる。南日本、インド・太平洋の熱帯～亜熱帯の内湾・沿岸に生息する(木村, 1997)。なお、近縁でしばしば河川感潮域に侵入することが知られているギンガメアジ *C. sexfasciatus* が、河口から 200m ほど沖合で採集されており(TKPM-P7692, 未発表)、河川内に侵入しているものもあると思われる。

Lutjanidae フエダイ科

8. *Lutjanus argentimaculatus* (Forsskal) ゴマフエダイ (写真 8)

TKPM-P7664(1, 16.0mm SL, Nov.3, 1998, St.6).

手網により稚魚を採集した。体側に 6 ~ 8 条の白色横帯があること、腹鰭が一樣に黒いこと、背鰭棘部の鰭膜上にやや濃密な黒色素胞が分布すること、体高が比較的高いことなどの特徴(小島, 1988)により、本種稚魚期と同定した。愛媛県内の河川からは、ほぼ同サイズの稚魚が岩松川より報告されている(辻, 1993b)。

Gerreidae クロサギ科

9. *Gerres equulus* (Iwatsuki et al) クロサギ (写真 9)

TKPM-P7698(1, 105.5mm SL, Oct.12, 1999, St.7), 7699(5, 112.4-176.1mm SL, Oct.23, 1999, St.7).

釣りにより成魚を採集した。従来、クロサギ *Gerres oyena* と呼ばれていたものが、近年 オガサワラクロサギ *Gerres baconesis*、クロサギ *Gerres equulus*、ミナミクロサギ *Gerres oyena* の 3 種に分類された(Iwatsuki et al., 1999)。採集した個体のうち 2 個体は臀鰭第 1 棘基部における体高比、尾柄比がミナミクロサギと重複したが(Iwatsuki et al., 1999)、その他の個体がすべてクロサギの特徴を示していたこと、ミナミクロサギの国内における分布域が琉球列島のみであることから、ここではクロサギとして同定した。

Sparidae タイ科

10. *Acanthopagrus schlegelii* (Bleeker) クロダイ (写真 10)

TKPM-P6340(2, 21.1-28.0mm SL, May 29, 1998, St.7), 6342(6, 11.4-12.9mm SL, May 31, 1998, St.7), 7691(1, 123.8mm SL, Sep.17, 1999, St.7), 7697(1, 122.7mm SL, Oct.12, 1999, St.7).

春季から秋季にかけて河口付近で遊泳しているところがよく見られる。宇和海周辺の沿岸や島嶼部で釣りの好対象種として親しまれている。

Oplegnathidae イシダイ科

11. *Oplegnathus fasciatus* (Temminck and Schlegel)

イシダイ (写真 11)

TKPM-P6348(1, 118.6mm SL, Aug.21, 1998, St.7).

釣りにより幼魚を 1 個体採集した。宇和海沿岸や島嶼部では、流れ藻についているブリ *Seliora quinqueraditata* の幼稚魚などと一緒に漁獲され、養殖されている。成魚は磯釣りの好対象種である。愛媛県内の河川からの記録は今回が初めてである。

Gobiidae ハゼ科

12. *Callogobius tanegasimae* (Snyder) タネハゼ (写真 12)

TKPM-P6379(1, 83.6mm SL, Aug.29, 1998, St.7).

河口付近の表層を衰弱して浮遊しているところを採集した。本種が採集された 3 日前より、赤潮プランクトンであるゴニオラックス・ポリグラマ *Gonyaulax polygramma* が大量発生し、本河川を含む宇和海一帯の海面が赤褐色化していた(愛媛新聞, 1998)。そのため、採集時には本種以外に上述したコノシロやガンテンイシヨウジのほか、マハゼ *Acanthogobius flavimanus*, ヒナハゼ *Redigobius bikolanus* 等の多くの魚類が水面近くを衰弱して浮遊し、あるいは死亡していた。

日本国内において、本種は伊豆半島から西表島に至る黒潮の影響を受ける地域から報告されている(鈴木, 1989)。四国では高知県四万十川(落合ほか, 1984; 建設省河川治水課監, 1995)からのみ記録されており、本県からは初記録である。

Sigandae アイゴ科

13. *Siganus fuscescens* (Houttuyn) アイゴ (写真 13)

TKPM-P6397(1, 77.2mm SL, Oct.3, 1998, St.7).

釣りにより幼魚を 1 個体採集した。これ以外に

秋季、数個体の幼魚がコンクリート護岸や底層の付着生物を摂餌しながら遊泳しているところを目視観察した。琉球列島を除く下北半島以南、台湾、西オーストラリアの沿岸岩礁域に生息する(山下, 1997)。

Sphyracidae カマス科

14. *Sphyracna pinguis* Günther アカカマス (写真 14)

TKPM-P7657(1, 217.0mm SL, Oct.30, 1998, St.7), 7665(1, 250.4mm SL, Nov.6, 1998, St.7).

釣りにより採集した。本種は琉球列島を除く、南日本、東シナ海、南シナ海の沿岸浅所に分布、生息する(瀬能, 1997)。四国の河川では、徳島県吉野川支流の新町川で確認されている(佐藤, 1991)。

Tetraodontiformes フグ目

Tetraodontidae フグ科

15. *Takifugu niphobles* (Jordan and Snyder) クサフグ (写真 15)

TKPM-P6338(3, 16.2-20.6mm SL, May 25, 1998, St.7).

手網により幼魚を採集した。先の報告では目視確認のみ(水野ほか, 1999)。これ以外に春季、数個体が遊泳しているところを目視観察した。

謝 辞

原稿を御校閲いただいた愛媛県魚病指導センターの清水孝昭氏、標本の登録、管理にご助力いただいた徳島県立博物館主任学芸員の佐藤陽一博士、調査にご協力いただいた来村川漁業協同組合長の玉田和正氏はじめ同組合員の方々に対し謹んで感謝の意を表する。採集に協力していただいた愛媛県立宇和島水産高等学校の村上勝義・木村三朗・佐野吉樹・有賀陽一・福田政好・鴻上称二郎・小原薫平・斎藤真介・渡邊善久・伊藤真司・木熊慶吾・吉良 浩・宅間章博・仲山清文・末光保介の各氏に対し心よりお礼申し上げる。なお、本調査の一部は来村川漁業協同組合からの補助を受けた。ここに記して謝意を表する。

引 用 文 献

- 愛媛新聞社. 1998. 宇和海で赤潮発生 雨不足 高水温 瀬戸～津島湾内. 8月27日付記事.
細谷和海. 1993. コイ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索—全種の同定—. 東海大学出版会, 東京,

- 212-230.
- 伊藤猛夫・水野信彦. 1978. 岩松川水系の魚類を中心とした河川生態とダム建設の影響評価. 岩松川水産資源調査会, 松山, 97pp.
- Iwatsuki, K., S. Kimura and T. Yoshino. 1999. Redescriptions of *Gerres baconesis* (Evermann & Seale, 1907), *G. equulus* Temminck & Schlegel, 1844 and *G. oyena* (Forsskal, 1775), included in the "G. oyena complex", with notes on other related species (Perciformes: Gerreidae). Ichthyological Research, 46(4):377-395.
- 環境庁編. 1987. 第3回自然環境基礎調査 河川調査報告書 四国版. 愛媛県, 63pp.
- 建設省河川局治水課監. 1993. 平成2, 3年度河川水辺の国勢調査年鑑 魚介類調査編. 山海堂, 東京, iii+698pp.
- 建設省河川局治水課監. 1995. 平成4年度河川水辺の国勢調査年鑑 魚介類調査編. 山海堂, 東京, iv+786pp.
- 小島純一. 1988. フェダイ科. 沖山宗雄編, 日本産稚魚図鑑. 東海大学出版会, 東京. 387-393.
- 木村清志. 1997. アジ科. 岡村 収・尼岡邦夫編・監, 山溪カラー名鑑 日本の海水魚. 山と溪谷社, 東京. 312-327.
- 水野信彦. 1988. 第三部 魚類調査. 新居浜市の生物相調査報告書 I. 新居浜市. 40-55.
- 水野晃秀・清水孝昭・山本孝雄・戸田隆太. 1999. 愛媛県来村川水系の魚類相. 徳島県立博物館研究報告, (9):1-38.
- 中坊徹次編. 1993. 日本産魚類検索-全種の同定-. 東海大学出版会, 東京, xxxiv+1474pp.
- 落合 明・古屋八重子・大野正夫・谷口順彦. 1984. 高知県の淡水生物. 高知県内水面漁業協同組合連合会, 高知, 156pp.
- 沖山宗雄編. 1988. 日本産稚魚図鑑. 東海大学出版会, 東京, xii+1154pp.
- 佐藤陽一. 1991. 徳島市都市河川の魚類相. 徳島県立博物館研究報告, (1):37-71.
- 瀬能 宏. 1997. アカカマス. 岡村 収・尼岡邦夫編・監, 山溪カラー名鑑 日本の海水魚. 山と溪谷社, 東京, 654.
- 鈴木寿之. 1989. タネハゼ. 川那部浩哉・水野信彦編・監. 山溪カラー名鑑, 日本の淡水魚. 山と溪谷社, 東京, 575.
- 谷口順彦. 1982. 西日本のフナ属魚類-オオキンブナをめぐって-. 淡水魚, (8):59-68.
- 辻 幸一. 1983. 岩松川(愛媛県)感潮域の魚類. 淡水魚, (9):90-91.
- 辻 幸一. 1986. 岩松川感潮域の魚類(2). 愛媛県立宇和島東高等学校研究紀要, 12:48-59.
- 辻 幸一. 1993a. 肱川水系の魚類(2)-河口感潮域の魚類-. 南予生物, 7(1・2):11-15.
- 辻 幸一. 1993b. 岩松川感潮域の魚類(3). 南予生物, 7(1・2):16.
- 山下慎吾. 1997. アイゴ. 岡村 収・尼岡邦夫編・監, 山溪カラー名鑑 日本の海水魚. 山と溪谷社, 東京, 632.
- 矢頭卓児. 1997. ホウボウ. 岡村 収・尼岡邦夫編・監, 山溪カラー名鑑 日本の海水魚. 山と溪谷社, 東京, 214.
- (みずの こうき 〒798-0068 宇和島市明倫町 1-39 愛媛県立宇和島水産高等学校)

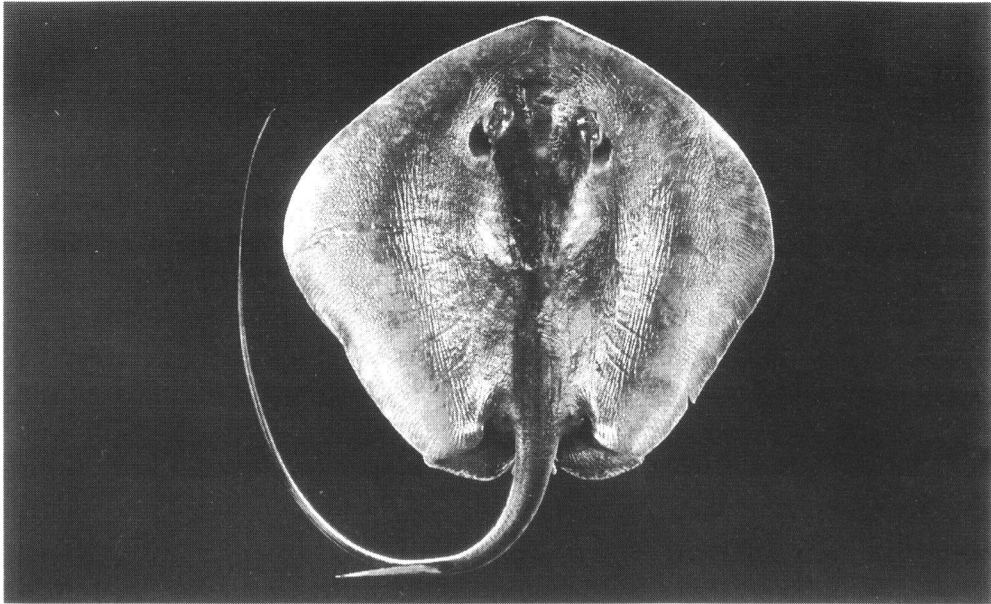


写真 1. *Dasyatis akajei* アカエイ (142.4mm DW, TKPM-P6346)

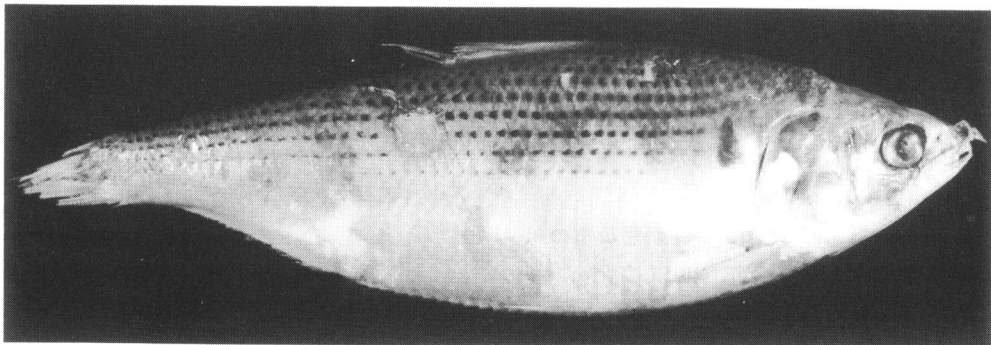


写真 2. *Konosirus punctatus* コノシロ (190.1mm SL, TKPM-P6352)

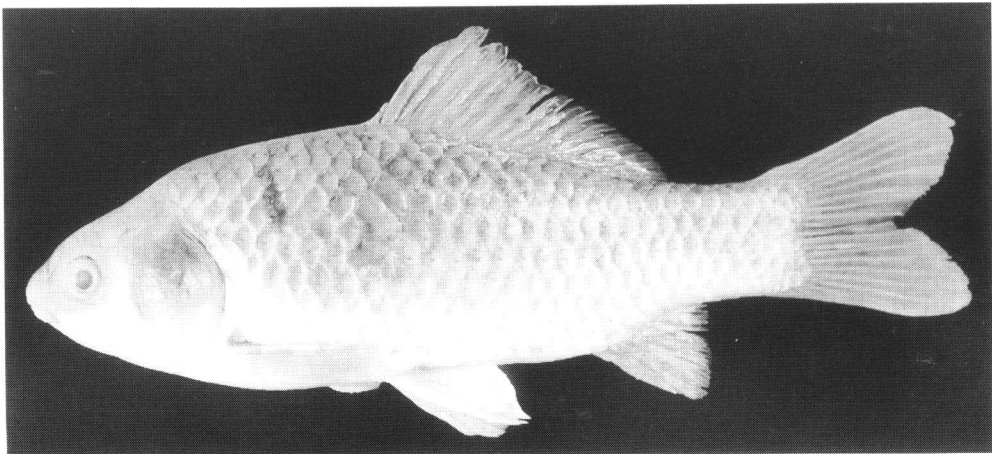


写真 3. *Carassius auratus buergeri* オオキンブナ (128.5mm SL, TKPM-P7696)

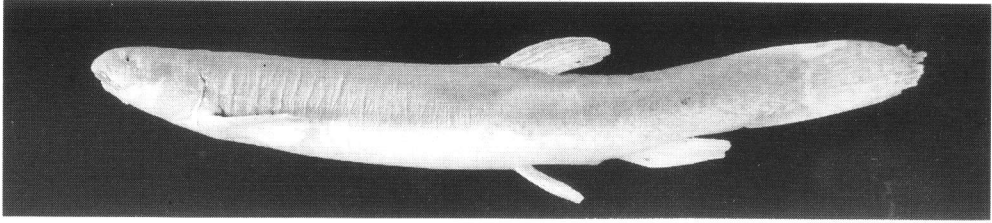


写真 4. *Misgurnus anguillicaudatus* ドジョウ (89.8mm SL, TKPM-P7676)

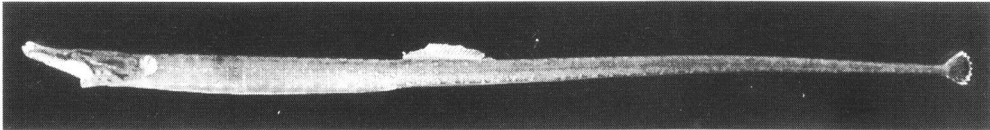


写真 5. *Hippichthys penicillus* ガンテンイシヨウジ (87.2mm SL, TKPM-P6345)

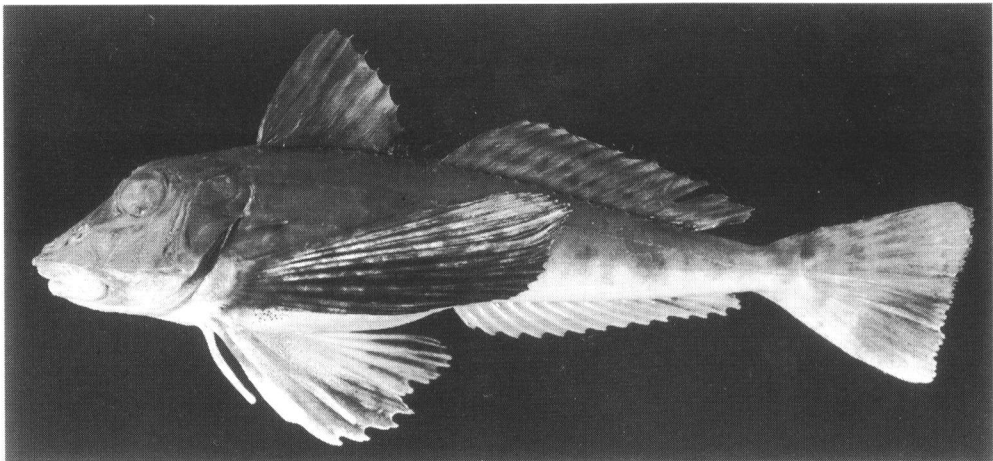


写真 6. *Chelidonichthys spinosus* ホウボウ (136.4mm SL, TKPM-P7689)

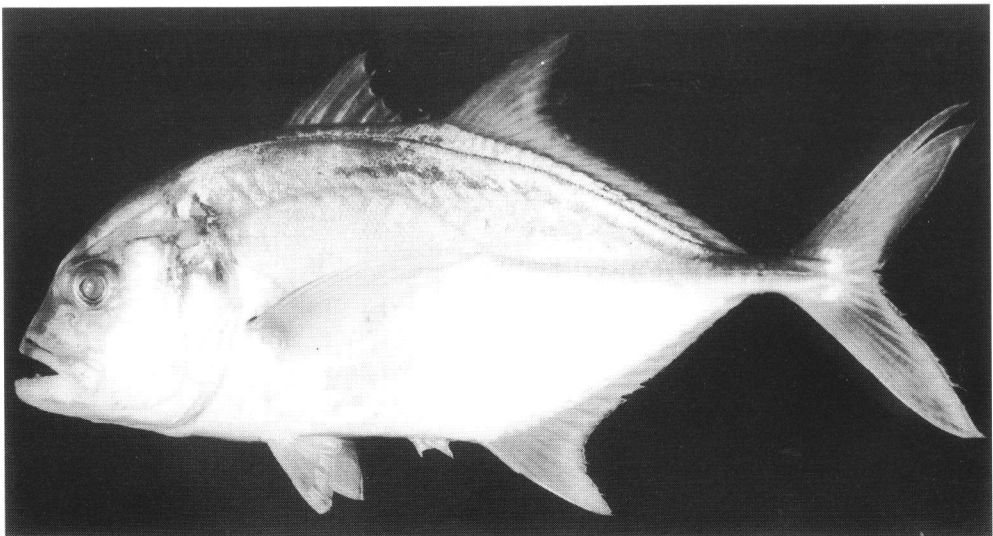


写真 7. *Caranx ignobilis* ロウニンアジ (177.7mm SL, young, TKPM-P6392)

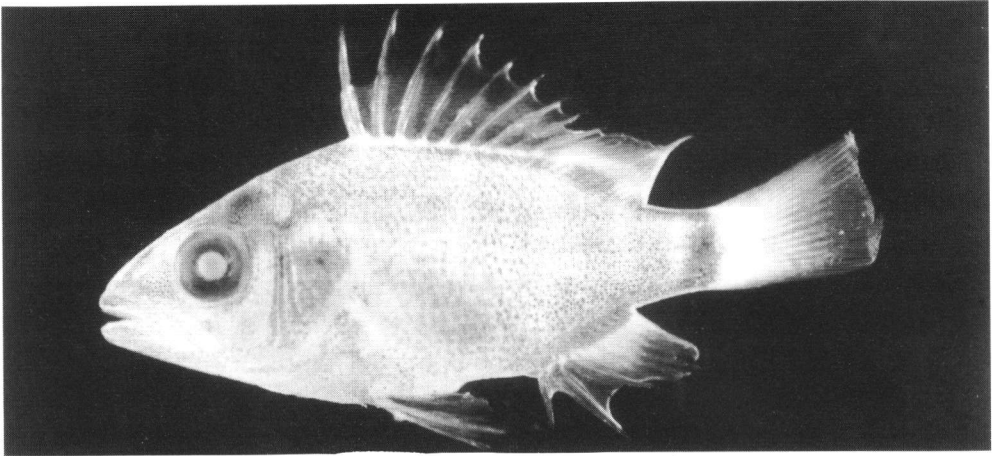


写真 8. *Lutjanus argentimaculatus* ゴマフエダイ (16.0mm SL, juvenile, TKPM-P7664)

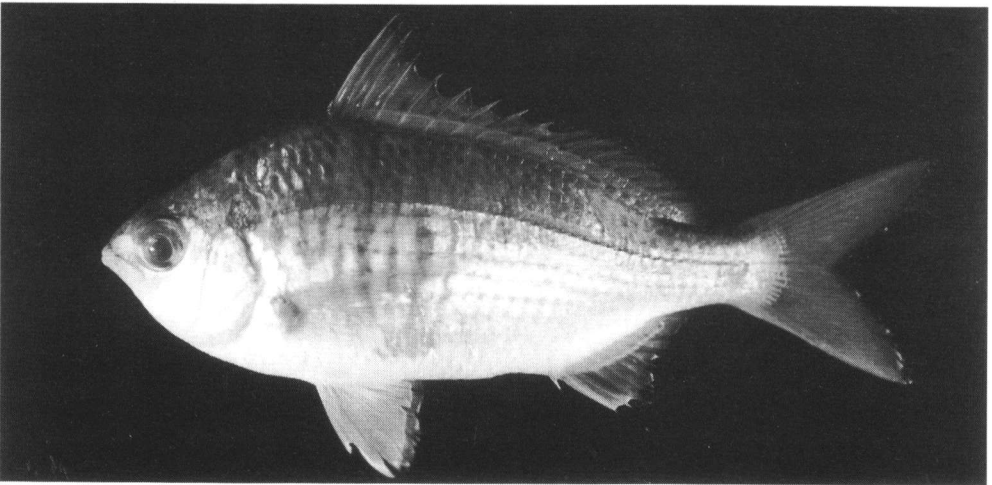


写真 9. *Gerres equulus* クロサギ (121.5mm SL, TKPM-P7699)

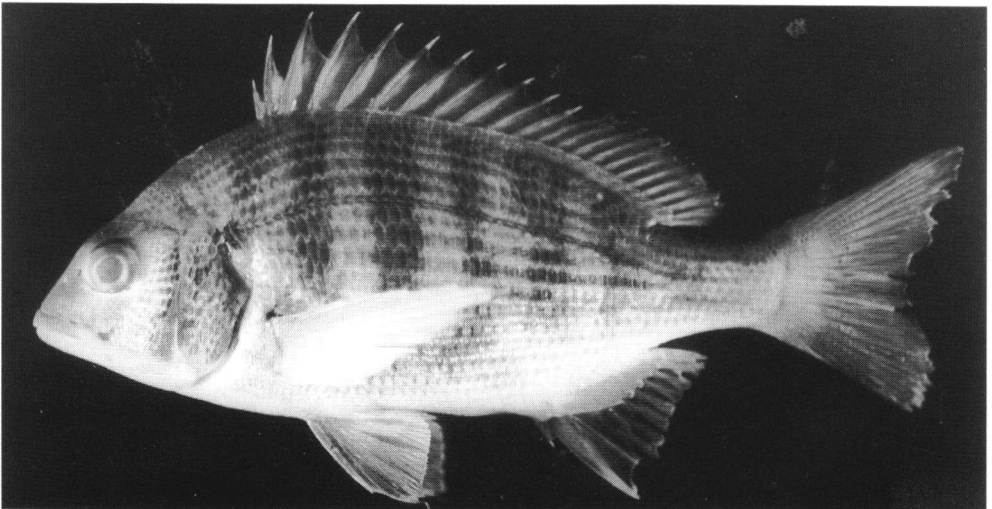


写真 10. *Acanthopagrus schlegelii* クロダイ (123.8mm SL, TKPM-P7691)

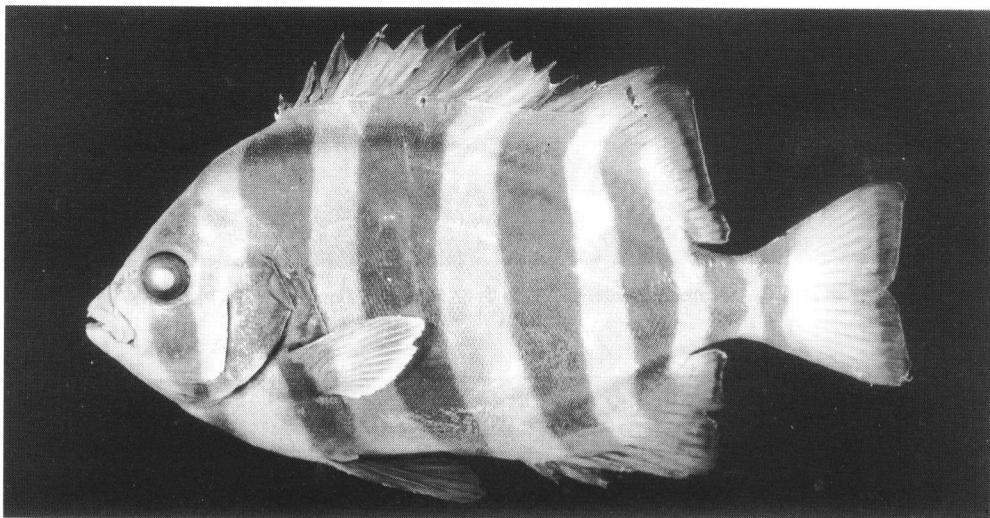


写真 11. *Oplegnathus fasciatus* イシダイ (118.6mm SL, young, TKPM-P6348)

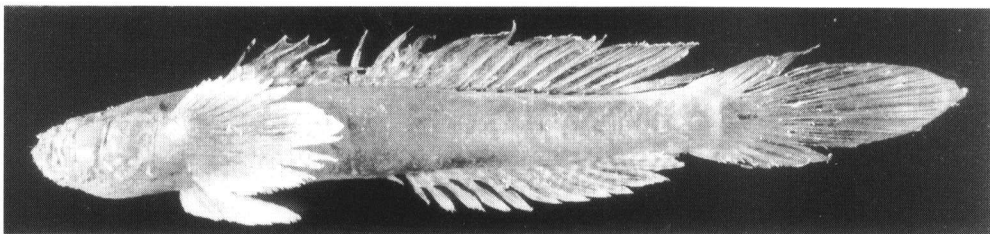


写真 12. *Callogobius tanegasimae* タネハゼ (83.6mm SL, TKPM-P6379)

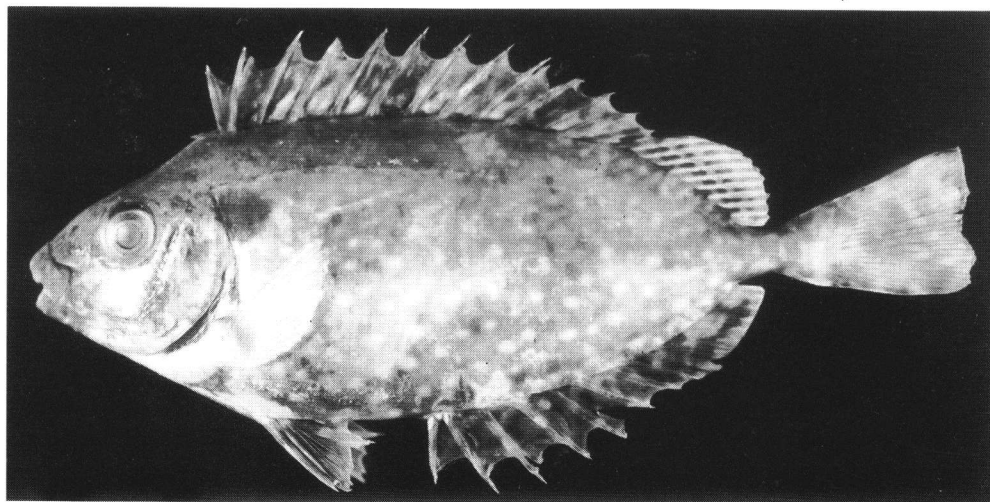


写真 13. *Siganus fuscescens* アイゴ (77.2mm SL, young, TKPM-P6397)

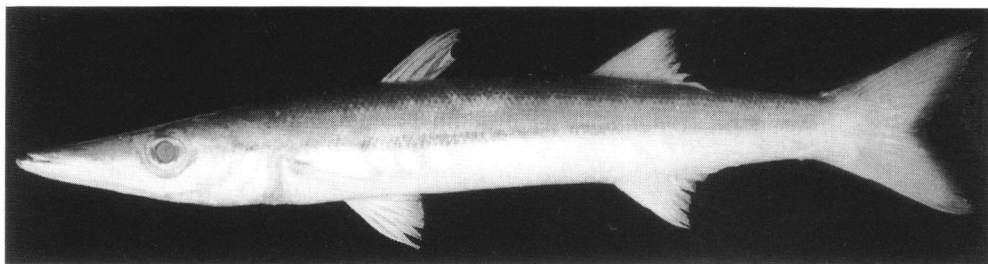


写真 14. *Sphyraena pinguis* アカカマス (217.0mm SL, TKPM-P7657)

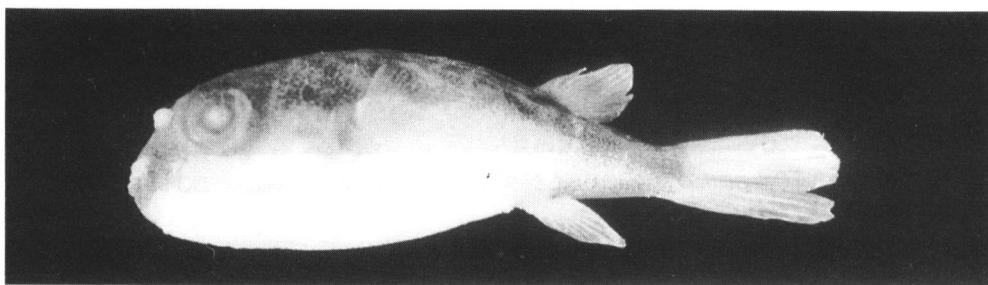


写真 15. *Takifugu niphobles* クサフグ (20.6mm SL, young, TKPM-P6338)